

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センター めぶき園（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		令和8年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		令和8年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援事業を20年以上続けてきた実績を活かして立ち上げており、児童の心身の状況に合わせて丁寧に関わる支援を継承しています。	学校のように頑張るところでもなく、家のように自由な場所でもない、ちょうどその真ん中を意識して支援しています。課題を通してチャレンジする機会があれば、家とは異なる安全基地にもなれる、子どもの状態に合わせて臨機応変に支援します。	個別性をより理解していくためのアセスメントであったり、学校から帰ってきた後のリラックスできる空間や安心感を与えられる関わりを求めています。
2	小学校に慣れていく段階（移行期）の1, 2年生の子を中心に、保育所等訪問も行っており、学校の様子も踏まえたうえでの放課後支援が可能です。	保育所等訪問を担当しているスタッフからの情報提供や職員会議を通して、子どもの微妙な変化や状況を知って関わっています。	学校や併用している放課後等デイサービスとの連携を深めて、一体となった支援をしていきたいです。
3	児童発達支援のある建物（大ホール）を使用することもでき、雨天時でも思いきり体を動かす活動が可能です。	サーキットやボールを使った遊び、エアトランポリンなど、発散できる活動を取り入れています。	建物を活かして、子どもが楽しめる活動の幅を広げていきたいです。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	不登校児などを午前中から受け入れる体制は、まだ取れていません。	対応するための勤務体制や職員が整っていないため。	放課後等デイサービスに求められてくるニーズを考えると、事業所の方向として検討することも必要と考えている。
2	長期休暇中の開所時間が「9時～」と、他事業所に比べると遅い。	対応するための勤務体制や職員が整っていないため。	共働きが当たり前になりつつある世の中で、朝の時間に送迎が出来ない保護者もいるため、事業所の方向として検討することも必要と考えている。
3			